



欧米に追いつき追い越せというキャッチアップ経済が終わり、中央集権から地方分権へという流れの中で合併協議が白熱化し、正念場を迎えております。

先般の合併協議会主催住民説明会には、多数の皆さんのご参加をいただき、土岐市が最多でありましたことを感謝しております。

今後、九月二十一日(日)午後一時三十分から文化プラザ・サンホールで、「三市一町の将来見通しとこれからのまちづくり」をテーマとした「まちづくりシンポジウム」が開催されます。それに引き続き、土岐市主催の住民説明会を、九月二十四日から十月十四日にかけて市内八会場で、午後七時三十分より開催いたします。いずれもおそろいでお出かけください！
厳しい不況が続く中で、

国と地方の財政も難局に直面しておりますが、これを超える市民福祉の向上と地域の活性化を実現するため、日常生活圏の広がりや情報通信技術の飛躍的発展を基盤として、基礎的自治体の適正な規模はどうあるべきか、そして、高度に専門化し効率的な行財政を実現する中で、先人が築き上げられた地域の特質や特



長をどう伸ばすかが重要であります。

地方における適正な人口規模は、理想的には三十万人以上の中核市として、自立性の高い地域を構築することでありますが、東濃西部三市一町では二十二万余でありまして、特例市の資格が得られます。

道州制を考えれば、中核市は将来の課題でありまし

よう。

東濃西部三市一町は今、新時代の息吹が感じられま

す。
二年後には、待望の東海環状自動車道が開通し、これに併せて知的財産権立国を支える土岐市および周辺地域の新時代の事業用地の分譲が始まりますので、国や県などの関係機関と連携し、新しい産業展開と雇用

合併協議に想うこと

―時代を直視し共に将来を考えよう―

土岐市長

塚本 保夫

創出にまい進してまいります。

皆さんご承知のように、

伝統的で成熟化した地場産業はおおむね、全国的に中国製品などの厳しい競争に直面しており、当面大きな発展は見込み難い状況にありますので、これからは伝統的な地場産業と先端的な知識集約型産業との適宜な組み合わせによる産業構

造の高度複合化が不可欠です。何としても、若者の新規雇用の場を拡大して地域の活力を高め、高齢者が安心できる郷土をつくらねばなりません！

高齢社会にあつて、福祉面での雇用拡大も重要です。さて、現在の合併協議の中で負担とサービスの問題がありまして、土岐市は幼稚園授業料や保育料、衛生

手数料などは最も低いレベルではありますが、水道料は高いレベルです。

その原因は、土岐市は中央丘陵地を囲んで市街地がドーナツ型である上に、山あり谷あり等々、物理的地形的制約によるところが大きく、高コストは避けられない中で、行政の責任において全市給水体制を確立したことにあります。

こうした経営努力以前の市民生活に直結する重要課題については、新市の一体性確保の原則や、負担公平の原則に照らして、冷静かつ真剣に徹底した議論がされるべきであります。

合併の財政特例の中で、公共料金格差是正などのために、合併後三年間に十二億円の助成制度がありますので、土岐市としては、これを最大限活用することを提案いたしております。

安全で低廉な水の供給は、市民生活で最も重要な行政の責務であり、水道料金を極力抑制することは、市民生活はもちろんのこと、今後の新規産業の企業誘致などについても有効に作用し、若者の就職の場の拡大と、活力ある新市の市民生活の建設にも大いに寄与すると思うものであります。

いずれにしても三市一町の公共料金が、いい塩梅に調整され、多くの市民の皆さんに、いかに納得していただけるかが肝要であります。
(八月二十日記)